

平成25年8月2日

国土交通省 九州地方整備局長崎 河川国道事務所

扱い：平成25年8月2日(金) 14:00解禁 県政記者クラブ(投込み)、諫早記者クラブ(投込み)

記者発表資料

平成24年本明川水質調査結果の公表について

長崎河川国道事務所では、本明川 4地点、半造川 1地点において、定期的に水質調査を実施しています。また、小学校と連携し総合学習として水生生物調査を実施しています。

今回、平成24年に実施した水質調査結果について公表します。

◎本明川の水質観測地点のBODは全て基準を満足

平成24年は、平成23年と同じく、本明川の鉄道橋、天満公園前、旭町、不知火の4地点とも、BODの環境基準値を満足しています。

◎本明川の水質(BOD75%値)は昨年と同程度

本明川の水質調査地点のBOD75%値は、1.1mg/Lで、昨年(1.2mg/L)と同程度でした。

半造川の水質調査地点のBOD75%値は、3.3mg/Lで、(昨年3.9mg/L)でした。

◎小学生による水生生物調査結果

諫早小学校、北諫早小学校の小学生が実施した水生生物調査結果は、全地点「きれいな水」でした。

水生生物調査は、川底などに棲んでいる生物を捕まえ、種類と数により、水質を評価(水生生物による水質判定)します。

河川名	調査地点	調査日	団体	調査結果
本明川	鉄道橋	H24年7月17日	諫早小学校	きれいな水
	四面橋			きれいな水
	眼鏡橋			きれいな水
	鉄道橋	H24年9月24日	北諫早小学校	きれいな水

○同時発表

国土交通本省
九州地方整備局

○問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所
Tel:095-839-9211
調査第一課 課長 金子 努
係長 山村 健志

水質調査地点について

表 本明川水質調査地点一覧

河川名	観測地点名	環境基準地点	類型指定状況 (s48指定)	観測地点所在地	河口及び合流点からの距離
本明川	鉄道橋	○	A	諫早市天満町	河口より13.6km付近
本明川	天満公園前	○	B	諫早市天満町	河口より12.2km付近
本明川	旭町	○	B	諫早市旭町	河口より10.8km付近
本明川	不知火	—	B	諫早市長田町	河口より7.7km付近
半造川	半造橋	—	—	諫早市川内町	合流点より1.4km付近

※水域類型：生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖沼、海域と利水目的に応じた水域類型を設け、水域類型ごとに、pH、BOD、COD、等の項目について基準が設定されています。河川はAA～Eの6類型が設けられています。

※環境基準地点：水質汚濁にかかる環境基準の水域類型のあてはめがなされた水域において、環境基準の維持達成状況を把握するために調査を行います。その評価地点が環境基準地点です。

本明川では二つの水域（（1）鉄道橋（2）天満公園前、旭町、不知火）に分かれており、各水域の評価地点は、（1）鉄道橋（2）天満公園前、旭町となっています。

生活環境の保全に関する環境基準（河川）

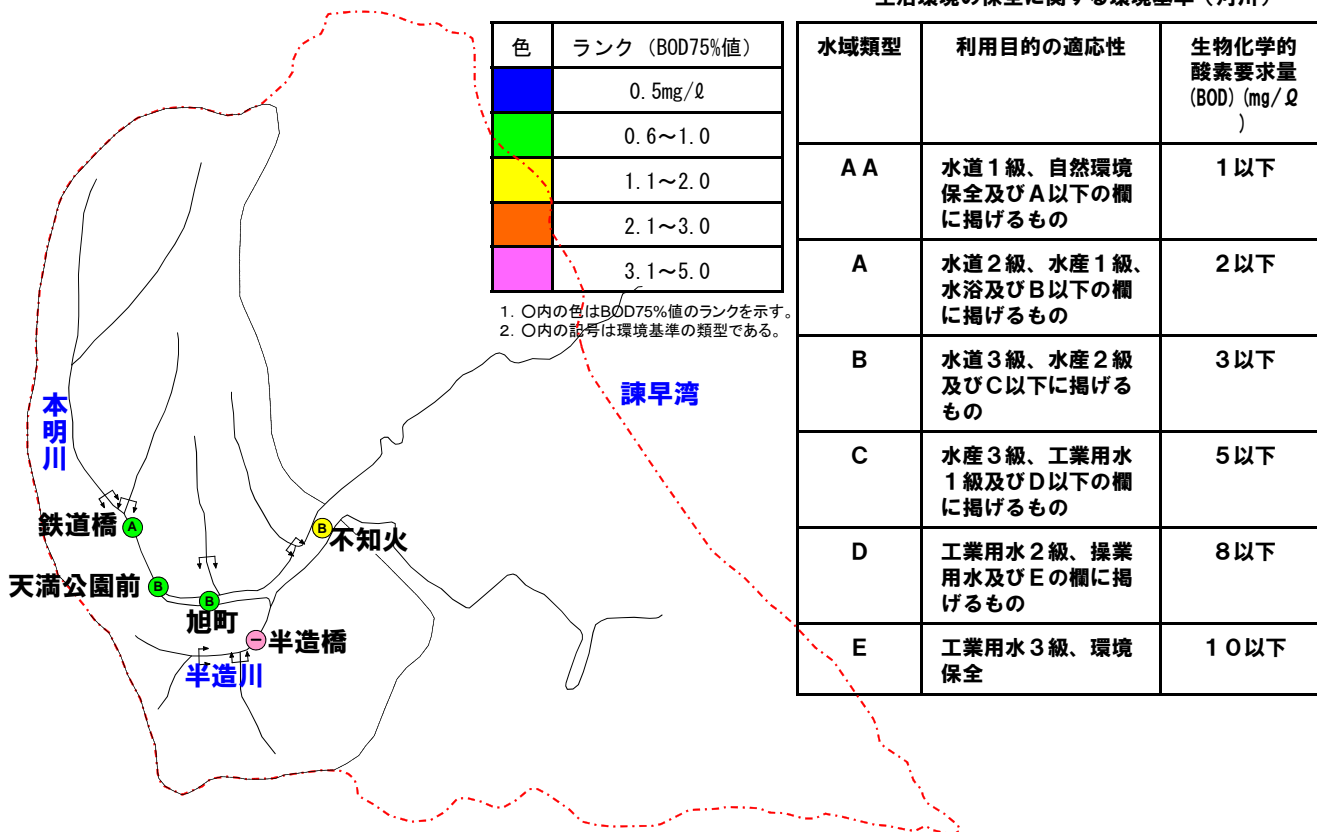


図 水質調査地点位置図

※平成20年4月25日諫早湾干拓調整池が本明川として河川指定された。

BODによる水質評価について

◎平成24年は、本明川の鉄道橋、天満公園前、旭町、不知火地点の4地点ともBODの環境基準値を満足しています。

◎半造川の半造橋地点のBOD75%値は、3.3mg/lと比較的高い値となっております。
※半造川は類型指定されていないため、環境基準値は設定されていません。

※BOD：生物化学的酸素要求量のことです。河川の水質の指標のひとつです。
微生物が水中の有機物を分解するときに消費する酸素量として表され、この値が大きいほど、水が汚れていることになります。

※BOD75%値：BOD測定データを低い方から並べたとき75%の位置にある値のことです、これにより環境基準を満足しているかを判断します。
例えば、月1回の測定の場合、12個のデータのうち水質の良い方から9番目の値が75%値となります。

表 本明川における水質観測地点のBODの経年変化

		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	近10ヶ年平均	H24	類型
鉄道橋	①75%値	0.9	1.0	0.6	0.9	0.8	0.9	0.9	0.6	0.9	0.8	0.8	0.8	A
	②年平均値	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	(2.0以下)
天満公園前	①75%値	1.2	1.1	1.2	1.4	1.0	1.1	0.9	1.0	1.1	0.8	1.1	0.9	B
	②年平均値	1.2	1.0	0.9	1.1	1.0	1.0	0.8	0.8	0.9	0.7	0.9	0.9	(3.0以下)
旭町	①75%値	1.4	1.3	1.7	1.2	1.0	1.2	1.2	1.0	1.1	0.9	1.2	0.9	B
	②年平均値	1.4	1.0	1.1	1.0	1.0	1.1	0.9	0.8	1.0	0.8	1.0	0.9	(3.0以下)
不知火	①75%値	2.0	1.6	1.8	1.8	1.5	1.7	1.8	1.6	1.5	2.1	1.7	1.6	B
	②年平均値	1.8	1.4	1.6	1.5	1.4	1.6	1.6	2.1	1.3	2.0	1.6	1.7	(3.0以下)
4地点平均	①75%値	1.4	1.3	1.3	1.3	1.1	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1	
	②年平均値	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	
半造橋	①75%値	4.0	3.8	4.7	4.4	3.0	3.6	4.3	4.4	3.4	3.9	4.0	3.3	—
	②年平均値	3.6	3.0	3.6	3.6	2.6	3.3	3.3	3.2	3.1	3.3	3.3	2.5	

■：環境基準地点
 ■：75%値で環境基準を超過した値
 ()：環境基準値

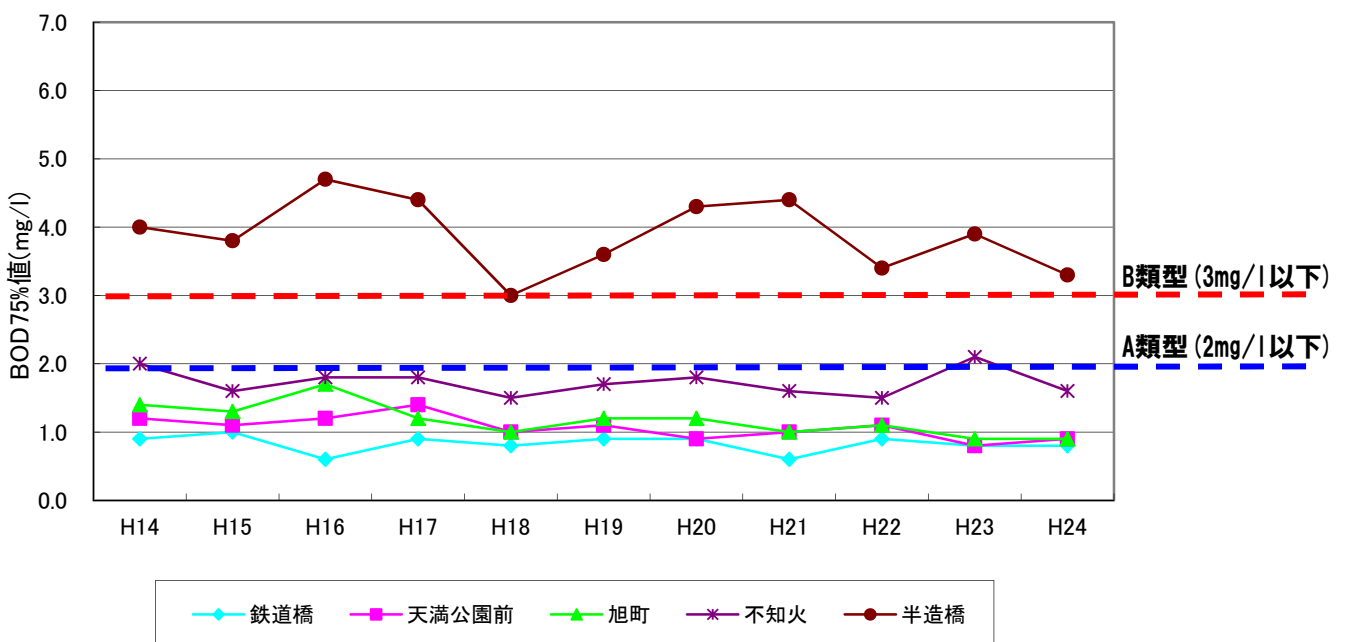


図 水質経年変化グラフ (BOD75%値)

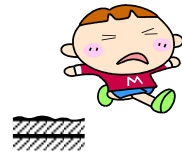
水生生物調査による水質評価について

水生生物調査とは？

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうために、小学生や地域住民等の参加を得て、水生生物による簡易な水質調査を実施しています。

この調査は川底などに棲んでいる生物を捕まえ、水質階級毎に定められた指標生物の種類と数により、川の水質を4段階で判定するものです。

平成24年は、諫早小学校、北諫早小学校の小学生に実施していただき、その結果、鉄道橋、四面橋、眼鏡橋の全地点において、「きれいな水」と判定されました。



過年度からの調査結果

調査地点名	H20	H21	H22	H23	H24
鉄道橋	きれいな水 (水質階級Ⅰ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)	少しきたない水 (水質階級Ⅱ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)
四面橋			きたない水 (水質階級Ⅲ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)
眼鏡橋 (天満公園前)	きたない水 (水質階級Ⅲ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)	きたない水 (水質階級Ⅲ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)	きれいな水 (水質階級Ⅰ)

川の中にはいろいろな生き物が棲んでいます。特に、カゲロウやサワガニなど、川底に棲んでいる生き物は、水のきれいさの程度(水質)を反映したものとなっています。

水生生物調査では、川底に棲んでいる生き物を使って、一番多い種類により、その川の水質を、

「きれいな水(水質階級Ⅰ)」

「少しきたない水(水質階級Ⅱ)」 ※平成24年度以降は、「ややきれいな水」に表現を変更

「きたない水(水質階級Ⅲ)」

「たいへんきたない水(水質階級Ⅳ)」 ※平成24年度以降は「とてもきたない水」に表現を変更

の4段階に判定します。

※指標生物の見直しにより、平成24年度より、水質階級Ⅱ及び水質階級Ⅳの表現が変わっています。